



大津市報道資料
市政記者各位

お問い合わせ先

担当者	「文学のまち大津」実行委員会事務局（文化振興課内）				
連絡先	077-528-2733				
総合計画 位置付け	基本方針	基本政策	施策	取組の方向性	主な取組
	2	8	19	1	1

令和8年9月18日

令和8年10月3日（土）

「湖都の葉マルシェ2026」を開催します！

自費出版の本や ZINE などを作り手自身が販売する「文学作品のフリーマーケット」を中心とした文学イベント「湖都の葉マルシェ2026」を、令和8年10月3日（土）に大津市なぎさ公園おまつり広場・修景緑地および大津市民会館にて開催します。

大津湖岸で
文学を
楽しもう。

湖都の葉
マルシェ

2026 10.3 SAT 10:00 - 15:00
なぎさ公園 おまつり広場・修景緑地
大津市民会館（読み聞かせなど一部イベントのみ開催）

入場無料 【雨天決行・荒天中止】
詳細は公式HPへ
湖都の葉マルシェ2026

約200の
ブース出店

小説 ZINE
絵本 漫画
フード アート
ワークショップ

出展して楽しむ みんなのオリジナル作品が満載！
文学作品のフリーマーケット

ステージで楽しむ 宮島未奈先生 × 担当編集者
文学作品のフリーマーケット

読んで楽しむ 本を愛する人々による
ZINE づくり・ことばアート体験

食べて楽しむ 食文化体験 発酵とスパイス・カレーのふり

その他「文学」で1日遊べる！

湖都の葉マルシェ 2026.10.3 SAT 10:00 - 15:00 なぎさ公園 おまつり広場・修景緑地、大津市民会館【雨天決行・荒天中止】

出展して楽しむ 文学作品のフリーマーケット みんなのオリジナル作品が満載！
市内外から集結した約150の出展者が自作の文学作品やZINE、古本などを出品。
ここでしか出会えない、個性豊かな1冊を手探りに取ってご覧いただけます。

新設！コーナー
学生文芸紹介

読んでも楽しむ 本を愛する人々による
ZINE づくり・ことばアート体験

食べて楽しむ 食文化体験 発酵とスパイス・カレーのふり

作って楽しむ はじめての人々による
ZINE づくり・ことばアート体験

会場MAP

会場までのアクセス

文学のまち大津とは…
大津市から現代文学まで、豊かな歴史の中で多様な文化の営みが
あふれる。今も息を吹き続ける「文学のまち大津」。その豊富な文学資源
の魅力を最大限に引き出し、市民が文学を身近に感じ、楽しむ機会を
創出する。それが「文学のまち大津」の目指すところである。

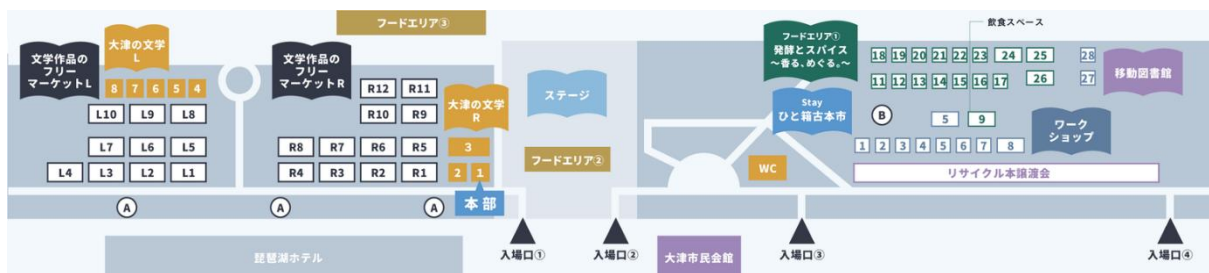
昨年の初開催時には、約 3,500 人にご来場いただいた「湖都の葉マルシェ」。2 回目となる今回は、会場規模を昨年の 3 倍以上に拡大し、文学作品のフリーマーケットに加え、ワークショップ、フードエリアなど、文学にまつわる幅広いジャンルのブースが出店します。メイン会場となるなぎさ公園は、琵琶湖を一望できる開放的なロケーション。秋の湖畔で、文学を身近に感じながら、世代を問わず誰もが楽しめる「湖都の葉マルシェ」ならではの一日をお届けいたします。

【開催概要】

「湖都の葉マルシェ 2026」

- 開催日時：令和8年10月3日（土）10時～15時 ※雨天決行・荒天中止
- 場所：なぎさ公園 おまつり広場・修景緑地、大津市民会館（滋賀県大津市）
- 入場料：無料
- 主催：「文学のまち大津」実行委員会（事務局：大津市文化振興課内）

【会場マップ】



【各コンテンツ紹介】

◆【文学作品のフリーマーケット】場所：なぎさ公園修景緑地（琵琶湖ホテル側）

約150ブースが出店！自作の文学作品やZINEなど、ここでしか出会えない個性豊かな作品が並びます。作り手と直接言葉を交わしながら、制作への思いを聞けるのも魅力です。今年は新たに「学生の文芸紹介コーナー」を設置。滋賀・京都の大学生が、文芸誌や部誌、会誌など、日頃の文学活動から生まれた作品を携えて出店します。

◆【ステージイベント】場所：なぎさ公園おまつり広場 特設ステージ

今年の湖都の葉マルシェは、第18回大津ジャズフェスティバルと同時開催。「成瀬あかり」シリーズの著者 宮島未奈先生と担当編集者によるトークショーなど、「文学のまち大津」にちなんだ特別プログラムをお届けします。

<ステージイベントタイムテーブル> MC：びわこ放送・黒川彩子アナウンサー

10:30 宮島未奈先生×『成瀬は都を駆け抜ける』担当編集者・羽毛田穰治氏による

スペシャルトークショー

12:10 琵琶の音色でたどる 湖都・平家物語の世界（法應山 竹本旭曜）

12:45 競技かるたエキシビジョン（大津あきのた会）

13:30 大津市出身スリーピースバンド ゴリラ祭ーズライブステージ

14:30 終演（※15:00以降は、大津ジャズフェスティバルのプログラムをお楽しみください。）

◆【出版社・市民活動団体によるワークショップ】

場所：なぎさ公園修景緑地（琵琶湖ホテル側・市民会館側）

日々、文学や本に関わる活動を行う出版社や市民活動団体が、多彩なワークショップを開催。ZINEづくり、参加者同士で文章を書きつなぐ「読みものリレー」、自費出版相談会、ことばを絵にするアート展示、かるたを使った坊主めくりなど、様々な体験ができます。

◆【図書館のリサイクル本譲渡会・移動図書館】場所：なぎさ公園修景緑地（市民会館側）

昨年も好評だった図書館の大人気イベント・リサイクル本の譲渡会を今年も開催します。会場には、約 3,000 冊の本が並びます。また、移動図書館「さざなみ号」もやってきます。

◆【大津の文学コーナー】場所：なぎさ公園修景緑地（琵琶湖ホテル側）

成安造形大学の学生展示、広報課による「広報おおつ」との連動企画、観光振興課による大河ドラマ「光る君へ」の撮影使用品展示など、魅力ある企画が集結します。また滋賀県書店商業組合ブースでは、「#木曜日は本曜日」イベントに関連したノベルティを配布します。

◆【来場者をつくる「ことのはインスタレーション展示」】

場所：なぎさ公園修景緑地（琵琶湖ホテル側・市民会館側）

今年の新企画として、来場者がお題に沿った一言をその場で書いて掲示する参加型のインスタレーション展示を今年度初の試みとして実施。木枠のスケルトンドームにことばのカードを吊るしていく「ことのはドーム」、大判の生地のことばを書き込んでいく「ことのはキャンバス」の2種類のオブジェを会場内に設置。誰もが“文学のつくり手”になれる仕掛けとして、イベントを通じて来場者の手により一つの作品を完成させます。

◆【Stay ひと箱古本市】場所：なぎさ公園修景緑地（市民会館側）

ゆっくりと古本を眺めてみる、手に取ってみる、読んでみる。普段から本を読む方も、そうでない方も、この機会に触れてみてはいかがでしょうか。

◆【飲食ブース】場所：なぎさ公園修景緑地（琵琶湖ホテル側・市民会館側）

フードからスイーツまで、約 30 店舗が出店します。古典文学に着想を得たフードエリア「発酵とスパイス～香る、めぐる～」なども登場します。

◆【本の読み聞かせ・朗読会、児童書リサイクル本の譲渡会】場所：大津市民会館

サブ会場の大津市民会館では、図書館などで活動する団体による本の読み聞かせや朗読会を開催します。さらに、児童書のリサイクル本譲渡会を同時開催。メイン会場と合わせて、子どもから大人まで、世代を問わずお楽しみいただけます。

※最新情報は公式 HP・SNS をご確認ください

- 公式 WEB : <https://otsu-bungaku.jp>
- 公式 Instagram : https://www.instagram.com/otsu_bungaku/
- 公式 X : https://x.com/otsu_bungaku



※イベントは、荒天や社会情勢の状況により、延期または中止となる場合がございます。その際は、10月1日（木）13時に情報を公式サイトへ掲載いたしますので、事前にご確認のうえ、ご参加くださいますようお願いいたします。



令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業